火山本部講演会 in 北海道

十勝岳大正泥流災害から100年

～あの日を知り、明日に備える～

十勝岳は、豊かな自然や景観、観光資源など多くの恵みをもたらす一方で、時として大きな災害を引き起こす火山でもあります。1926年に発生した十勝岳大正泥流災害から100年を迎えた今、火山と火山災害、火山が与えてくれる恵みについて、一緒に考えてみましょう。



100年前の教訓を学ぶ

提供：上富良野町教育委員会



火山を知る



火山の恵みを感じる

日時

2026年
12月7日(月)
13:30～15:35

事前登録制

参加費無料

オンライン開催

講演会特設サイト

https://www.kazan.go.jp/event/20261207-hokkaido

スマホから簡単にお申込みできます

事前登録はこちら

https://forms.cloud.microsoft/r/w5wmNM0KBg

プログラム

13：40～
火山調査研究推進本部の取組
井上 和久
文部科学省研究開発局
地震火山防災研究課
火山調査管理官

13：55～
火山防災と気象庁の情報
小川 豊
旭川地方気象台 台長

14：10～
十勝岳の噴火史から考える噴火の特徴と火山災害
中川 光弘
火山調査研究推進本部
長期評価部会長

14：40～
十勝岳の噴火前兆現象と2026年の活動活発化
青山 裕
火山調査研究推進本部
火山調査委員会 委員

15：00～
十勝岳と共にある十勝岳温泉の歴史
青野 範子
十勝岳ジオパークガイド

◆プログラム・講演内容は変更となる場合があります。

文部科学省　旭川地方気象台 Asahikawa Local Meteorological Office, JMA　北海道　十勝岳ジオパーク 美瑛・上富良野エリア

主催：火山調査研究推進本部（事務局：文部科学省）、旭川地方気象台　後援：北海道、上富良野町、美瑛町、十勝岳ジオパーク推進協議会、気象友の会

火山本部講演会 in 北海道

十勝岳大正泥流災害から100年

～あの日を知り、明日に備える～

火山調査研究推進本部（火山本部）は、活動火山対策の強化に資することを目的とした改正活火山法に基づき、令和６年４月１日に文部科学省内に設置されました。政府の司令塔として、火山に関する観測、測量、調査及び研究を推進するとともに、その成果を広く一般に周知し、防災対策にご活用いただくために、講演会を開催しています。

プログラム

13:30 主催者代表（文部科学省）挨拶

13:35 地元自治体（上富良野町）挨拶

13:40 火山調査研究推進本部の取組

井上 和久
文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 火山調査管理官

13:55 火山防災と気象庁の情報

小川 豊
旭川地方気象台 台長

14:10 十勝岳の噴火史から考える噴火の特徴と火山災害

中川 光弘
火山調査研究推進本部 長期評価部会長
北海道大学 名誉教授
気象庁参与



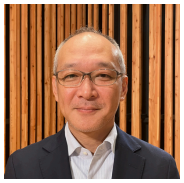
十勝岳は、過去1万年間にわたって噴火を繰り返してきた活火山です。しかし、個々の噴火によるマグマ噴出量はごく少量という特徴があります。それにもかかわらず、十勝岳では深刻な火山災害が発生しています。なぜ、マグマ噴出量の少ない噴火が大きな災害を引き起こすのでしょうか。

本講演では、20世紀以降の日本で最も多くの犠牲者を出した火山災害を引き起こした「大正泥流」と、それを発生させた1926年噴火を中心に、十勝岳の噴火史からその原因を考えます。

14:30 休憩（10分）

14:40 十勝岳の噴火前兆現象と2026年の活動活発化

青山 裕
火山調査研究推進本部火山調査委員会 委員
北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター 教授
北海道大学広域複合災害研究センター 教授
北海道防災会議地震火山対策部会火山専門委員会 座長



20世紀に3回の噴火活動期を経験した十勝岳は、比較的共通した火山活動の活発化を経てマグマ噴火に至りました。2026年3月頃から始まった活動の活発化は、過去の噴火活動期前と類似した現象が見られることに加え、当時にはなかった新しい技術による観測項目でも地下のマグマの関与が高まったことを示唆する変化が認められています。

15:00 十勝岳と共にある十勝岳温泉の歴史

青野 範子
十勝岳ジオパークガイド
かみふらの十勝岳温泉協会 会長
十勝岳温泉株式会社 代表取締役



十勝岳の山麓に抱かれ、火山の恵みとともに歩んできた十勝岳温泉。その歴史は、雄大な自然の恩恵を受ける一方、噴火をはじめとする火山活動と向き合ってきた歴史でもあります。本講演では、十勝岳の火山活動と十勝岳温泉の成り立ちを振り返りながら、人々が火山とどのように向き合い、その恵みを生かしながら歩んできたのかをご紹介します。

15:20 質疑応答（進行次第で省略の可能性あり）

15:30 閉会挨拶

◆プログラム・講演内容は変更となる場合があります。

事前登録について

事前登録制です。QRコード等から申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上、お申し込みください。
登録完了後、ご登録いただいたメールアドレスへ視聴用URLをお送りします。
事前登録締切り　2026年12月2日（水）
※申込者多数の場合は、ご参加いただけない場合があります。あらかじめご了承ください。

事前登録はこちら

https://forms.cloud.microsoft/r/w5wmNM0KBg

お問い合わせ先：火山本部講演会事務局（株式会社建設技術研究所内）（文部科学省からの運営業務受託業者）　kazanhonbu-kouen-r8hokkaido@ctie.co.jp